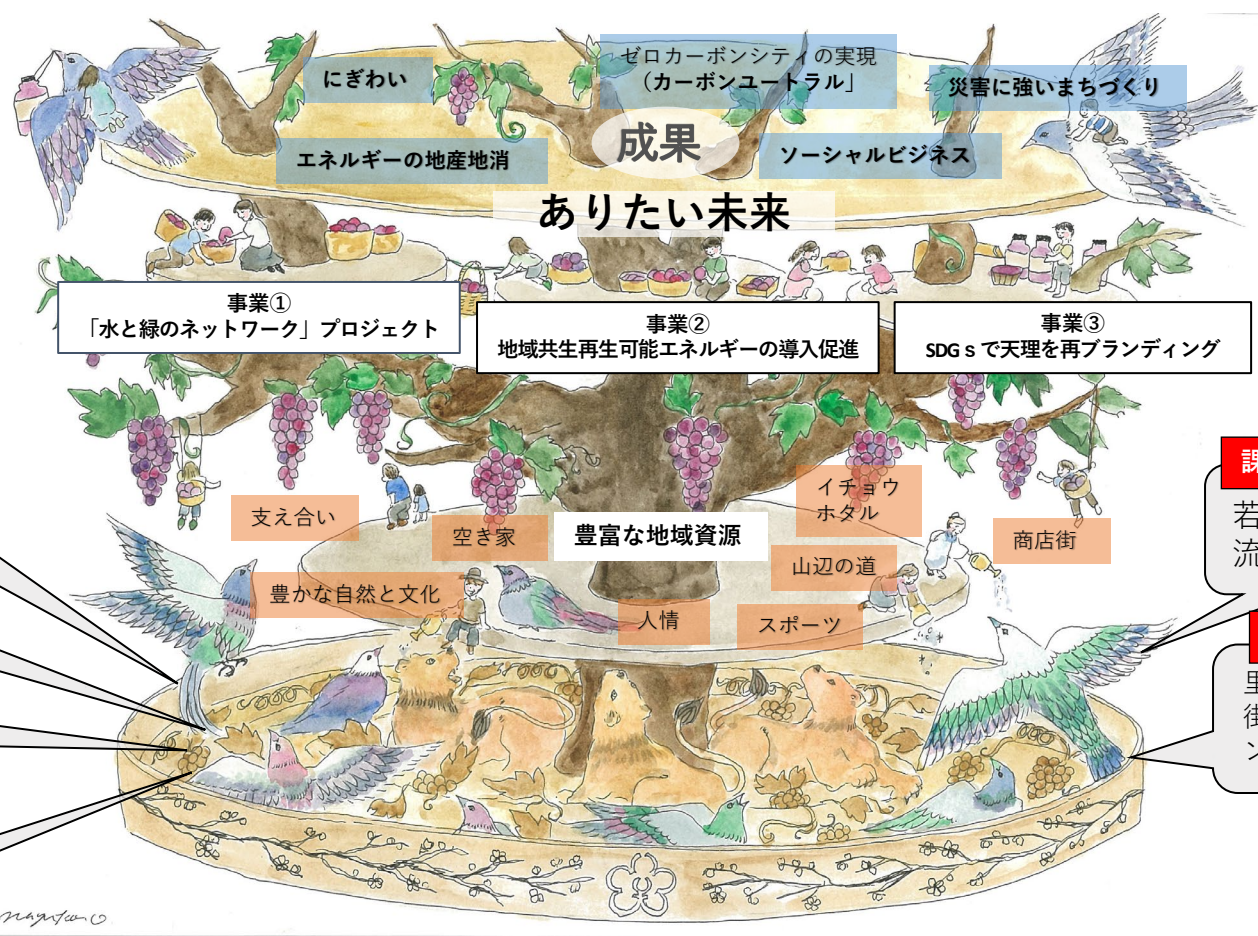


エコシティ・天理 地域立体マンダラ図

サトの豊かさ
これからも住みたいまち天理
マチの魅力
天理市第6次総合計画

地域循環共生圏
エコシティ・天理

ありたい未来：市民や事業者が連携し、人々が愛着や生きがいを持ちながら、いつまでも安心して暮らせるまち



課題
商店街の衰退と
空き店舗対策

課題
耕作放棄地・
空き家対策

課題
ゼロカーボン
シティの実現

課題
モビリティ

課題
若者の市外
流出超過

課題
里山の荒廃、
街路樹のメン
テナンス

立体マンダラの底辺に据えたのは市内で出土した「海獣葡萄鏡」(8世紀)です。地域の歴史や文化に育まれて、いまの天理市があることから原点として捉えました。動き出した海獣や鳥たち、葡萄の木が豊かな実を实らせながら未来に伸びて、人々が日々の生活をしています。地域の取材をしてくれた大学生が描いてくれました。葡萄鏡の縁には天理市の市章と市の花「梅花」があしらわれていることにも着目してください。

事業を通じての“変化”

天理市に関わる人や事業者が連携し、愛着や生きがいを持ちながら、いつまでも安心して暮らし続けられるまち

循環(各事業推進の相乗効果)

・都市空間や資源に磨きがかかり、経済的なメリットが期待できる

・ゼロカーボンの実現に向けた取組が進み、地域経済が向上する

・地域で活躍する人材が育ち、起業、雇用の創出につながる

・交流人口の拡大から移住・定住につながる

事業①

「水と緑のネットワーク」プロジェクト

事業成果

- 地域の自然を活かした新しい観光の開発
- モデルケースの構築 ○自然系環境人材の育成

取組

- ・山の辺の道エコミュージアム構想
- ・ホテル、街路樹などの資源を利用した集客産業
- ・SDGsの森づくり(里山保全、教育、健康)
- ・放置竹林の課題解決と竹の利活用
- ・環境教育

事業②

地域共生再生可能エネルギーの導入促進

事業成果

- 再エネ普及によるゼロカーボンの実現
- 地産地消エネルギー活用による地域経済向上

取組

- ・レジリエンス太陽光発電PPA事業を公共施設から実施(南中学校)
- ・営農型ソーラーと農業連携の導入ケーススタディ
- ・天理に適した小型バイオマス発電のモデル検討
- ・地域再エネ電力事業の可能性検討
- ・ふるさと納税 再エネ返礼品メニュー化検討

事業③

SDGsで天理を再ブランディング

事業成果

- 天理のまちが賑やかになる
- コミュニティや人のつながりの強化
- 天理で育まれた環境人材が日本全国や世界で活躍

取組

- ・まほろばエコロジー講座(環境人材をつくるための資格制度)
- ・おとなの大学祭(学びたい大人のためのワークショップやカフェ、講演会)
- ・山の辺の道の特産品をブランディング

自然資源

山の辺の道、歴史・文化、寺社、古墳群、里山、竹林、山中の作業道、ホテル、街路樹、耕作放棄地、綿・ひまわり・彼岸花、親里競技場

建物資源、道路資源

学校、公共施設、宗教施設、民間施設、教育施設、名阪国道、空家、商店街、天理ダム

取組

天理教ネットワーク、天理大学のスポーツ、人の温かさ、支え合う市民の互酬性、天理に愛着がある市外住民、新製造の仕組み、小水力発電技術、観光・商店街、教育コンテンツ

人材資源

市民、事業者、天理大学生、森林竹林所有者、林業技術者
地元のNPO・NGO・事業者、天理市、環境連絡協議会、金融機関

事業推進に関する課題

- ・太陽光パネルの設置における建物探索、条件整備、老朽化対策
- ・メガソーラーの拡大による場所の悪化への対応
- ・間伐材の確保、木材を切り出す仕組みの構築
- ・再エネ導入の計画的・段階的戦略策定、経済効果スキームの構築
- ・再エネ普及につながるシステム、モデル地区の実現
- ・エネルギー費用の流出阻止

人材に関する課題

- ・青少年育成の場や機会の減少
- ・地元に着定する再エネ専門人材の確保と育成
- ・若者の市外流出防止
- ・仕事の確保、新たな雇用の創出
- ・新たな農業事業者の発掘
- ・ステークホルダーの合意形成

地域活性化に関する課題

- ・市民に対するSDGsの周知、理解
- ・商店街の衰退、賑わいの減少
- ・里山の荒廃、街路樹のメンテナンス・巨木化対応
- ・生物多様性の実現、野生動物との共存
- ・空家・空き店舗の対策
- ・交通手段の確保